



CHAPTER 5

DMM アプライアンスの管理

この章では、アプライアンス管理インターフェイス（AAI）を使用して DMM アプライアンスを管理する方法を説明します。内容は次のとおりです。

- 「AAI の起動と使用方法」 (P.5-1)
- 「日常の管理作業の実行」 (P.5-1)
- 「アプライアンスのネットワーク設定の変更」 (P.5-6)
- 「アプライアンスの日時設定の変更」 (P.5-7)

AAI の起動と使用方法

アプライアンスのログイン プロンプトから AAI を起動するには、第 3 章「DMM アプライアンスのセットアップと設定」の作業チェックリストを実行したときに指定した管理者アカウントのユーザ名 **admin** およびパスワードを入力します。

AAI でオプションを表示するか、選択内容を変更するには、次のいずれかを実行します。

- オプションを選択するには、またはオプションのリストを順に参照するには上または下の矢印キーを押します。
- 選択したオプションをオンまたはオフにするには、**Space** キーを押します。
- オプションの変更を保存して有効にするには、**Enter** キーを押します。

日常の管理作業の実行

- 「アプライアンス システム情報の表示」 (P.5-2)
- 「アプライアンスのバックアップ」 (P.5-2)
- 「アプライアンスのバックアップからの復元」 (P.5-2)
- 「ログレベルの変更」 (P.5-3)
- 「システム ログのコピーの取得と転送」 (P.5-3)
- 「Java キャッシュのイネーブルとディセーブル」 (P.5-4)
- 「アプライアンス管理パスワードの変更」 (P.5-4)
- 「アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート」 (P.5-5)
- 「アプライアンスの再起動」 (P.5-5)

- 「アプライアンスのシャットダウン」(P.5-5)

アプライアンス システム情報の表示

アプライアンスのシステム情報を表示するには、ログインし、[SHOW_INFO] を選択して、**Enter** キーを押します。

アプライアンスのバックアップ

AAI を使用してアプライアンスをバックアップできます。このバックアップでは、アプライアンスのデータベースと設定情報だけが含まれるファイルが作成されます。メディア ファイルは含まれません。



ヒント

DMS-Admin を使用してアプライアンスをバックアップすることもできます。このバックアップでは、DMM および Video Portal アプライアンスの両方のデータベースと設定情報が含まれるファイルが作成されます。詳細については、Cisco.com で『*User Guide for Cisco Digital Media Manager 5.1.x*』を参照してください。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DMM_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** DMM をバックアップするには、[BACKUP_DMM] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。
- USB ドライブにバックアップするには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - Video Portal アプライアンスにバックアップするには、[VIDEO_PORTAL] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスのバックアップからの復元

アプライアンスをバックアップから復元できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DMM_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** DMM を復元するには、[RESTORE_DMM] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します
- USB ドライブにあるバックアップから復元するには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。

- Video Portal アプライアンスにあるバックアップから復元するには、[VIDEO_PORTAL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ログレベルの変更

syslog メッセージの詳細度のレベルを変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DMM_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [DMM_LOG_LEVEL] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。
- 最も重大度の高いメッセージだけを受信する場合は、[ERROR] を選択します。
 - 警告メッセージおよびエラー メッセージを受信する場合は、[WARN] を選択します。
 - 情報、警告、エラーのメッセージを受信する場合は、[INFO] を選択します。
 - すべてのレベルの重大度でメッセージを受信する場合は、[DEBUG] を選択します。
- ステップ 3** **Enter** キーを押します。
-

システム ログのコピーの取得と転送

アプライアンスのログ ファイルのコピーを、アプライアンスに直接接続した USB ドライブに保存することができます。また、SFTP がイネーブルになっているサーバにログのコピーを転送することもできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [GET_SYSLOG] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。
- 接続された USB ドライブにログのコピーを転送するには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ログのコピーを SFTP で到達可能なサーバに送信するには、次の手順を実行します。
 - a. [SFTP] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - b. SFTP サーバの IP アドレスまたはルーティング可能な DNS 名を入力し、**Enter** キーを押します。
 - c. SFTP サーバにログインするときに使用するユーザ名を入力し、**Enter** キーを押します。

- d. SFTP サーバにログインするときに使用するパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。
SFTP ファイル転送に成功した場合は、AAI のシステム メッセージが表示されます。
-

Java キャッシュのイネーブルとディセーブル

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [CHANGE_JAVA_CACHE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** Java のキャッシュを有効にするには、[ENABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
Java のキャッシュを無効にするには、[DISABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4** **Enter** キーを押します。
-

アプライアンス管理パスワードの変更

アプライアンス管理パスワードは変更できます。入力するパスワードは、6 文字以上にする必要があります。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [RESET_PASSWORD] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** 新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを 3 回押します。
-

アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート

ソフトウェア パッチまたはソフトウェア アップデートをインストールできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [SOFTWARE_UPDATE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** CD-ROM を挿入し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスの再起動

アプライアンスを再起動できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [REBOOT] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** [Yes] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスのシャットダウン

アプライアンスをシャットダウンできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [SHUTDOWN] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** [Yes] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスのネットワーク設定の変更



(注)

- DMM アプライアンスに割り当てた固定 IP アドレスは変更しないでください。
- DHCP を使用してアプライアンスの IP アドレスを取得しないでください。DHCP システムで IP アドレスが予期せず有効期限切れになる可能性があり、装置の設定をやり直して、切断された接続を再確立するという管理オーバーヘッドが発生するためです。
- ネットワークで DNS サーバを使用している場合は、DMM アプライアンスの IP アドレスを変更するたびに、解決可能な DNS ホスト名を DMM アプライアンスに割り当て直す必要があります。

アプライアンスのネットワーク設定を変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [NETWORK_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** 変更するネットワーク設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。
- [HOSTNAME] : アプライアンスのホスト名を変更するには、このオプションを選択します。
 - [TCP_IP] : アプライアンスの IP アドレスの取得方法 (DHCP または固定) を変更するには、このオプションを選択します。DHCP を選択しないことを推奨します。
 - [DNS] : アプライアンスのプライマリまたはセカンダリ DNS サーバを変更するには、このオプションを選択します。
 - [AUTO_NEGOTIATION] : 速度および二重化を自動ネゴシエーションするかどうかなど、アプライアンスの NIC の速度および二重設定を変更するには、このオプションを選択します。
 - [NETWORK_TOOLS] : ネットワークのトラブルシューティングを行うには、このオプションを選択します。
- ステップ 3** **Enter** キーを押します。
- ステップ 4** 新しい設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。
- ステップ 5** 変更したすべてのネットワーク設定の組み合わせを確認します。
- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
 - 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。
-

アプライアンスの日時設定の変更

アプライアンスの日時を設定できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DATE_TIME_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** 変更する設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。
- [TIME_ZONE]: アプライアンスの時間帯を変更するか、アプライアンスのシステム クロックの UTC の使用をイネーブルまたはディセーブルにするには、このオプションを選択します。
 - [DATE]: アプライアンスの年、月、日を変更するには、このオプションを選択します。
 - [TIME]: アプライアンスの時間、分、秒を変更するには、このオプションを選択します。
 - [NTP]: アプライアンスの NTP サーバの使用をイネーブルまたはディセーブルにするには、または、アプライアンスで使用する NTP サーバを変更するには、このオプションを選択します。
 - [SHOW_TIME]: このアプライアンスで有効になっている時間設定を参照するには、このオプションを選択します。
- ステップ 3** **Enter** キーを押します。
- ステップ 4** 新しい日時設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。
- ステップ 5** 変更したすべての日時設定の組み合わせを確認します。
- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
 - 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。
-

データベース複製の設定



注意

Cisco Video Portal を使用する場合は、DMM アプライアンスと Video Portal アプライアンスの間でデータベース複製を設定してイネーブルにする必要があります。これを行わない場合は、Cisco DMS は仕様のとおり動作しません。



(注)

DMM アプライアンスが一時的にダウンしているか、再起動中の場合は、DMM と Video Portal の間の複製が再開されていることを確認する必要があります。これを確認するには、Video Portal アプライアンスの AAI に「Replication to Digital Media Manager: Working」(DMM への複製: 実行中) というメッセージが表示されていることを確認します。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [REPLICATION] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** Video Portal アプライアンスの IP アドレスを入力または編集するには、次の手順を実行します。
- a. [ADD/CHANGE] を選択します。
 - b. **Enter** キーを押します。
 - c. IP アドレスを入力します。
 - d. [OK] を押します。
- または、[Cancel] を押します。
- ステップ 3** (任意) 複製ステータスを確認するには、[STATUS] を選択して、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4** **Enter** キーを押します。
- 複製が完了するまでの速度は、複製対象のレコードの数によって異なります。
-